

……詞 華 集……

幻桃162号より

江口美由紀選

キッチンキッチンの窓を曇らせ煮詰めゆくマーマレードの声だけ聞いて
隣家の屋根の上なる風見鶏那須を指しおり 故郷が呼ぶ
ポットの蓋ポケットの蓋ビンの蓋閉めて出かける氷雨ふる町
サスケはあくまでも犬わたくしはあくまでも人同じではない
断捨離を逃れたはずの肩たたき棒を捜して冬の日くれる
免許更新の時のみ降りる駅にして白壁つづく酒蔵の街
ヒヨドリに林檎の芯をメジロにはパン屑を朝のおすそ分けです
入院の夫の見舞い後カピバラに会いに公園へ時時行きしよ
熊野川岸辺の桜咲き誇りただ美しく我を迎える
寝つけない夜の底からゆつくりと大王鳥賊のくる心配して
一段目を登り損ねた老い猫を見ないふりする大寒の朝
人生は成るように成る雨上がりおニューの靴で水溜り跳ぶ
誕生日を誰より早く祝いくる眼鏡屋さんの20%引き
門かどに立ち見えなくなるまで見送りぬかつては父を今は息子を
胃の術後五年目となる検診が無事にて終はる今日誕生日

角田 春美
月井 綾子
石出百合子
江口マサミ
諸井 敦子
富岡ひとみ
橋本 俣子
鷺見土岐子
水野 福三
柴田 秀子
藤田 正代
増田 和子
谷口佳代子
篠田 理恵
高本 洋子